



地域の概要及び課題

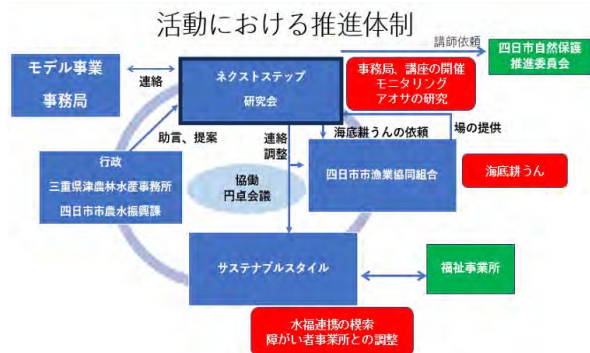
【地域の概要】

- 四日市市は、西に鈴鹿山脈、東は伊勢湾に面しており、海山川里など多様な環境があり、自然豊かな地域である。四日市市の海岸は、高度経済成長期に埋立・建設された石油化学コンビナート企業が立地しているが、市の南部には、わずかながら自然の砂浜海岸が残されており、沿岸域では漁業も営まれている。

【課題】

- 四日市でも後継者不足や漁獲量の減少などにより、漁業が衰退をきている。海域の貧栄養化や海水温の上昇といったかつての海洋汚染とは違った環境の変化により、最近は一見きれいな海であるが、生き物の少ない海となっている。

取り組みの実施体制、連携



活動地名
三重県四日市市



R6年度モデル事業における取組内容および成果

環境講座の実施

- 小学生を対象とした体験型講座の実施
- 活動に参加する人材育成講座の実施



【成果】

- 生き物観察などの体験を通して、海に親しみ楽しく学べ、大変好評だった。
- 高校生と協働でき、活動に参加してくれるメンバーの確保が出来た。

アサリの育成・モニタリング

- ケアシエルネットを用いたアサリの育成及び生き物観察



【成果】

アサリの稚貝が観察でき、アサリが生息する環境であることがわかった。

海の環境づくり

- 海底耕うんの実施（4回）
- アナアオサの除去、堆肥化の試行



【成果】

海底耕うんでは、様々な生き物が確認でき、ヒトデやツメタガイなどを除去する取り組みを行った。

関係団体との連携強化

- 漁協や行政との円卓会議の実施
- 漁師鮮度（大阪府）への視察



【成果】

漁協、行政との連携が深まり、今後活動の方向性が確立できた。

今後の課題および取組方針

- アサリの生息する場所は、秋には日中に潮が引かず、ケアシエルネットの管理方法を見直す必要がある。
- 水産多面的機能発揮対策事業に提案し、海底耕うんやアサリの育成に継続して取り組み、アサリ等生き物が育む豊かな伊勢湾に向けた取り組みを行う。
- 市民や行政、漁協との連携を図り、公害学習と併せたエコツーリズムやマルシェなど市民が楽しく学べる場づくりを行う。